

[ギラヴァンツは北九州に何をもたらすのか - 第3回 -]

本城陸上競技場で観戦している人々は 何を感じ、どう行動しているか

北九州市立大学都市政策研究所准教授 南 博

1. 2012年シーズン開幕

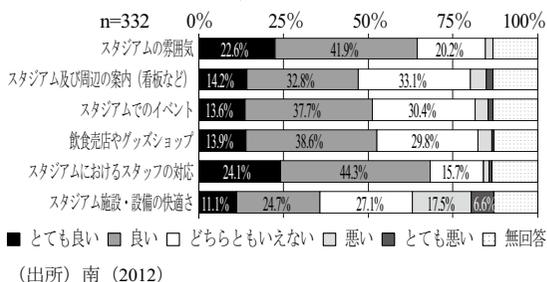
3月4日、2012年のJ2リーグ戦が開幕した。ギラヴァンツ北九州は、本稿執筆時点（第6節終了時点）では勝点10で9位（22チーム中）。最初の3戦で1分2敗ともたつたものの、その後3連勝と調子を上げてきた段階だ。今年も北九州を大いに沸かせる活躍が期待できそうだ。

開幕1週間前の2月26日には、「ギラヴァンツ北九州を支援する市民会議」（ギラヴァンツ北九州後援会、北九州市立大学都市政策研究所、北九州市で構成）主催の「スポーツでもっと幸せな街へ。ギラヴァンツ北九州激励会」が開催され、筆者も企画・運営スタッフとして参加した。サガン鳥栖前監督の松本育夫氏の基調講演「地域とともに歩むクラブ運営」は大変示唆に富み、またギラヴァンツの全選手・監督等が登壇し、市民・経済界・行政それぞれの代表がエールを送る激励会は大いに盛り上がった。会場では本学都市政策研究所がこれまで実施したギラヴァンツ北九州関連の調査研究成果のパネル展示も実施した。ご参加いただいた皆様に、厚く御礼申し上げたい。

2. スタジアム観戦者の意識

さて、今回は2011年9月のギラヴァンツ北九州対コンサドーレ札幌戦（北九州市立本城陸上競技場で開催）で筆者が実施したスタジアム観戦者調査^(注1)から、観戦者の属性等について紹介した。今回は、同調査によって明らかとなった他の項目

図1 スタジアムおよびイベントに対する評価
(ギラヴァンツ応援者)



について、主なものを紹介する^(注2)。

2.1 スタジアムおよびイベントに対する評価

調査対象試合におけるスタジアムおよびイベントへの評価を質問したところ、ギラヴァンツ応援者から「とても良い」「良い」という肯定的な回答が多いのは、「スタジアムにおけるスタッフの対応」、「スタジアムの雰囲気」であり、双方とも60%以上の回答者が高評価している（図1）。ボランティアスタッフの活躍等が良い雰囲気づくりに寄与していると考えられる。また、「飲食売店やグッズショップ」、「スタジアムでのイベント」も過半数が高評価している。一方、評価が低いのは「スタジアム施設・設備の快適さ」となっている。

なお、ギラヴァンツ応援者以外からの評価をみると、各項目ともギラヴァンツ応援者より評価が低い傾向がみられる。

2.2 今後の観戦意向

今後もギラヴァンツの試合をスタジアムで観戦したいと考えているか尋ねた結果を図2に示す。

ギラヴァンツ応援者の78.0%が「ぜひ観戦したい」と積極的な観戦意欲を示し、8.1%が「きっかけがあれば観戦するかもしれない」と回答しており、スタジアムを訪れた人はその魅力を感じ、再訪への高い意欲をもつ傾向にあるといえよう。

これを回答者のチケット種別にみると、「チケットをもらった」あるいはそれに準ずる回答をした観戦者の74.0%が「ぜひ観戦したい」、9.7%が「きっかけがあれば観戦するかもしれない」と回答している。いわゆる「招待券」の配布がリピーター確保に繋がっている可能性が示唆され、クラブや北九州市、地域団体等が行っている招待事業には一定の効果があるものと考えられる。このことは、ギラヴァンツを応援していない「応援クラブなし」の回答者においても41.7%が積極的な観戦意向を示していることからもうかがえる。

2.3 ファン拡大に必要な取り組み

ギラヴァンツのファン拡大のため必要と思う点について尋ねた結果を図3に示す。ギラヴァンツ応援者からの回答は「試合や選手の情報がもっと広報されること」と「チームが強くなること」が特に多くなっており、次いで多いのは「観戦しやすいスタジアムを新たに整備すること」である。

一方、対戦相手の応援者などの「その他の観戦者」からの回答は「観戦しやすいスタジアムを新たに整備すること」と「チームが強くなること」が同率で多く、次いで「本城陸上競技場への交通アクセスをより良くすること」が多い。新たなファンの発掘や経済効果の発揮には「その他の観戦者」の増加やリピーター化も不可欠であり、これらの意見は重視する必要があるものと考えられる。

図2 今後のギラヴァンツ北九州の試合のスタジアム観戦意向

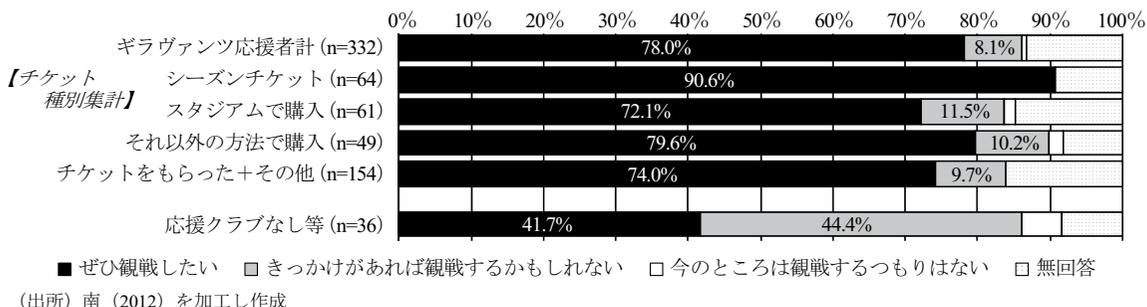
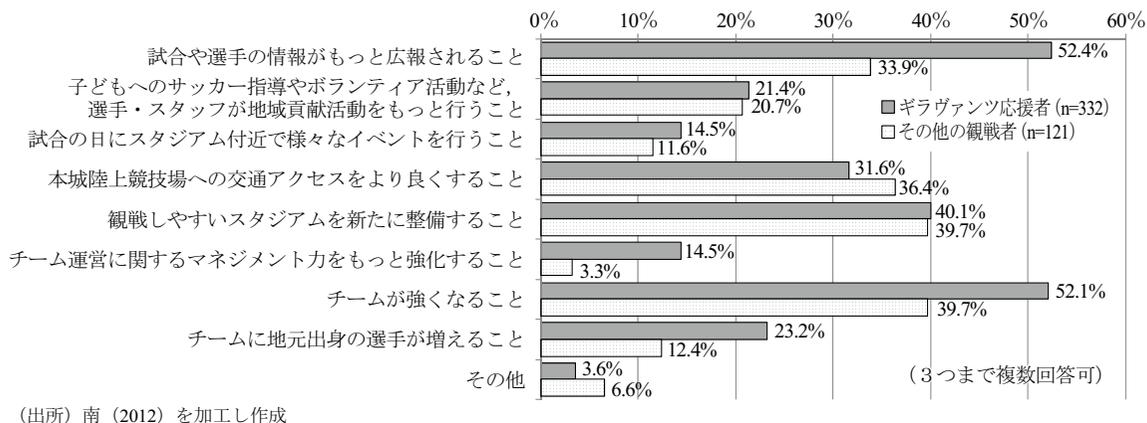


図3 ギラヴァンツのファン拡大のために必要な取り組み (3つまで複数回答)



2.4 ギラヴァンツが地域に与える影響

ギラヴァンツがJリーグで今後活躍していった場合、北九州地域にとってどのような影響があるか、8項目をあげて項目ごとに4段階で評価を求めた結果を図4に示す。前向きなイメージ項目に対しては「そう思う」「ややそう思う」の合計がいずれも80%前後となっている。一方、唯一の後ろ向きのイメージ項目である「地域にとって負担が増えるだけである」に対しては、「そう思う」「ややそう思う」の合計が約19.2%にとどまっている。ギラヴァンツが地域に様々な好影響を与えるとイメージしているスタジアム観戦者が大半といえる。ギラヴァンツは設立時に「プロスポーツリーグでの活躍を通じて地域に誇りと活力を！子どもたちに夢と感動を！」という決意を示しているが、その理念はスタジアム観戦者には理解され、支持されているといえよう。

3. スタジアム観戦者の消費行動

3.1 スタジアム内での消費行動

調査当日、スタジアム内や入場口付近の売店（ギラヴァンツビレッジ）などで飲食物やグッズ等を購入したか（あるいは購入予定はあるか）尋ねた結果を図5に示す。観戦者がスタジアム内で消費

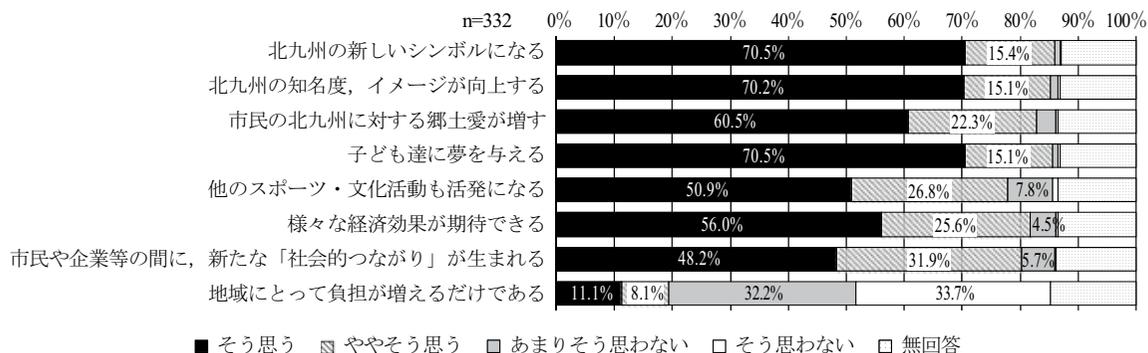
活動を行う比率は高いといえよう。

3.2 試合観戦前後の北九州市内での消費行動

調査当日の試合観戦前あるいは観戦後、北九州市内および周辺地域において買い物、飲食、宿泊等の経済活動を行ったか（あるいは行う予定はあるか）尋ねた結果を図6に示す。観戦が北九州市内における経済活動に直結したケースも少なくない。特に他クラブ応援者においては、41.2%が「行った・行う予定がある」と回答している。

スポーツの試合やイベントの開催による経済波及効果について、原田（2008）は「地域密着型のプロスポーツが、何万人の地元ファンを集め、ゲーム興行によって収益を上げて、それは（日常的に行われる）既存の地域支出の再配分に過ぎず、地域の経済効果はゼロに等しいのである。経済効果を高めるには、域外からファンを集め、宿泊や飲食等のキャッシュを呼び込む」ことが重要と指摘している。この観点に立つと、ギラヴァンツが北九州市にもたらす実質的な経済効果を考える際には、対戦相手の応援者を中心とする「市外からの訪問者」がいかに市内で経済活動を行うかが最も重要なポイントとなる。本調査は、他クラブ応援者が北九州市内で経済活動を行う意欲が一定程度高い可能性を示しているものと考えられる。

図4 ギラヴァンツ北九州が北九州市に与える影響



(出所) 南 (2012)

図5 調査当日スタジアム内での消費行動の有無

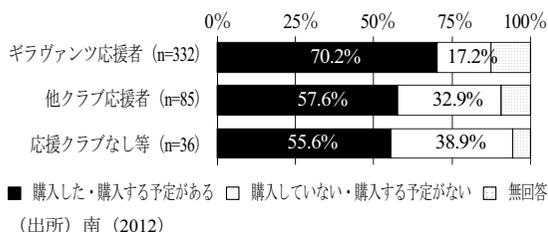
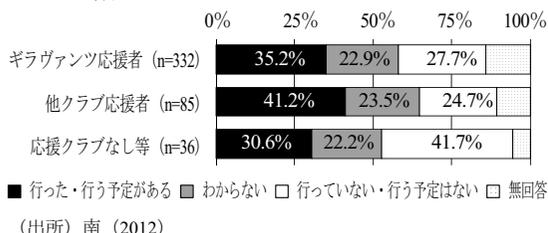


図6 試合観戦前後における北九州市内での消費行動の有無



3.3 北九州市内での年間のJリーグ関連消費額

2011年シーズン（9月17日時点。北九州でのホーム開催19試合中、14試合実施時点）において、Jリーグに関連し回答者1人でのどの程度の消費活動を北九州市内^(注3)で行ったか、おおよその金額の記入を求めた。回答をもとに、ギラヴァンツ北九州の観戦試合数別にみた、観戦者1人当たりのJリーグ関連平均消費額（北九州市内での消費）を算出すると、1試合当たりの平均消費額（チケット代除く）は、ギラヴァンツ応援者は2,749円/試合、他クラブ応援者は13,233円/試合、応援クラブなし等の観戦者は2,154円/試合となった。内訳をみると、北九州市内の飲食業や小売店、ホテル、交通機関等の多様な事業者へ経済効果が波及していることが推測できる。

なお、本調査における他クラブ応援者についてはコンサドーレ札幌の応援者が過半数を占めており、遠方から訪れる観戦者による「スポーツツーリズム」の経済効果の存在は明確といえよう。

4. データの蓄積・活用を

今回は、2011年9月に実施した本城陸上競技場でのスタジアム観戦者調査から、観戦者の意識や消費動態に関する結果を紹介した。ギラヴァンツが直面する最大の課題である「経営基盤の安定化」のためにはスタジアム観戦者数の増加が不可欠であり、その増加に向けては各種データの活用が必要であろう。スタジアム観戦者調査も有用なデータの1つと言える。多様なデータを蓄積・活用し、効果的な戦略を立てた上で地域が一体となって地道な普及活動等を展開すべきだ。

注

(注1) Jリーグの依頼を受け、Jリーグと北九州市立大で共同実施。調査実施概要は以下の通り。

調査日時：2011年9月17日（土）16：00～18：00

北九州vs.札幌（試合開始18：03）にて

調査方法：訪問留め置き法（事前抽出した座席に着座した観戦者に回答を依頼し、約30分後に再訪問して回収）

回収状況：有効回収数453（当日観戦者の9.7%）

(注2) 詳細については南（2012）でまとめている。

(注3) 回答者が「北九州市内での消費」と明確に区別し回答できているかに疑義は残るが、回答のままの金額を用い集計している点に留意が必要。

参考文献

原田宗彦（2008）「メガ・スポーツイベントと経済効果—数字に潜む問題点—」、『都市問題研究』第60巻11号，pp. 80～94

南博（2012）「2011年におけるギラヴァンツ北九州のスタジアム観戦者像」，北九州市立大学都市政策研究所『都市政策研究所紀要』Vol.6，pp. 83～112